

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	笠置地域学校協働本部 家庭教育支援チーム (呼称: ほっとサロン)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	笠置町立笠置保育所 笠置町中央公民館 等
活動範囲	笠置町内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	10 人 コーディネーター 1人、主任児童委員 1人、小学校 PTA 会員 1人、 食生活改善推進員 1人、地域住民 1人、保健師 2人 臨床心理士 1人 保育所長 1人、小学校教頭 1人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() (1) いこいの場「ほっとサロン」の開催 保育所を拠点とした子育て相談事業 (2) 家庭訪問活動 コーディネーターによる子育て相談と 事業の啓発活動 (3) 子育て講座 講師を招いての保護者向け講演等の活動 (4) 小学校や放課後子ども教室等と連携した体験活動 講師を招いての親子ものづくり教室等の活動
活動の成果	・少子高齢化が急速に進む自治体であるので、子育て世代のつながりが持ちにくい面があった。しかし、本事業を通して、親同士のつながりが持てると同時に、子育ての悩みや不安の解消につながっている。子育て経験者(家庭教育支援員や先輩の保護者など)に話が聞けるのもいい。さらに町の活性化に取り組もうとする保護者も出てきた。



活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化のため町全体に子育て世代が少ないので、つながりのさらなる広がりに期待が持てない。 ・新たな家庭教育支援員の確保が課題である。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生(町の活性化)の視点を踏まえて、家庭教育支援活動を推進する。 ～家庭教育支援活動を通じた人づくり・地域づくり・未来づくり～
問合せ先	<p>(部署・氏名等)相楽東部広域連合教育委員会生涯学習課笠置町分室 (TEL)0743-95-2726 (E-mail)rengou-syougai@rengou.jp</p>